

# 平成25年度事業報告

## (1) 愛護会法人本部事務局事業報告

### 1. 総務課報告

平成 25 年度においては法人事業の健全経営体制の実現に向けて、各事業部会と協調し以下の項目において取り組みを行いました。

#### ①新給与制度（案）の設計について

制度設計の概要は、昇格基準や資格要件を明確にし、愛護会の組織に対する役割と責任に応じて報酬を支払う給与制度を目指している。

新給与制度の全体像、課題の討議を行い、年間計画を立て実施してきた。その概要は以下のとおりとなっている。

- ・昇給の仕組み、昇格要件の確認、初任給額
- ・役職の定義、不合理の検証
- ・給与表、昇給時期の統一化協議
- ・新俸給表適用の職種
- ・前歴換算、・資格手当の有無
- ・管理職手当の支給金額
- ・人件費試算の検証

平成 26 年度の取組みとしては、創立 50 周年を前年に踏まえ、顧問社会保険労務士の助言を得ながら、新給与制度原案を完成させたい。

#### ②幹部職員の資質向上対策（人材育成対策）

人材育成のひとつとして、管理職職員を対象とした社会保険労務士を講師に招き労働基準法を基本とした労働関係法令の研修会を平成 26 年 2 月に行い、管理職職員の労務管理のさらなる向上となった。

#### ③人材育成制度の導入のための具体策

法人本部事務局においては各課が細分化されたことにより専門性の高まりは著しいが、一方で他の業務の詳細が理解出来ず、結果業務量に偏りが生じることとなる。人事異動があった場合、即戦力として対応する技量が求められる事となるため、福祉関連事務について内部研修を行い、各課の取り組み事項を共有するとともに資質の向上を目指すため、内部研修回数・内部研修講師経験回数など目標数値を設定しその達成度を確認することを目的として、法人事務職員研究会を毎月開催し、福祉関係事務について研修を実施した。

#### ④諸規程の制定・改廃

就業規則関係及び車両関係諸規程の制定・一部改正を行った。

また、個人情報保護規程（仮称）の整備は平成26年前期までに終了する予定としている。

#### ⑤労働基準法及び労働安全衛生法順守のための具体的措置

顧問社会保険労務士と協議しながら、就業規則及び職員給与支給規則の条文を見直し改正を行った。

また、労働災害の防止を目的として、総務専門委員会と協議し ①ラジオ体操の実施 ②労災ヒヤリハット事例の提出を各事業所で平成26年度より実施する予定とした。

#### ⑥雇用形態別就業規則の策定

再雇用職員、嘱託職員、臨時職員、時間給職員の雇用条件を明確にするため、平成25年度総務専門委員会にて規程の内容の協議と顧問社会保険労務士の助言を得て、平成25年度末理事会・評議員会に規程を議決し、平成26年4月1日より施行した。

## 2. 財務課報告

平成25年度においては法人事業の健全経営体制の実現に向けて、各事業部会と協調し以下の項目に取り組みを行いました。

### ① 会計部門の基盤整備

—課題—

- ・新会計基準に基づいた決算書の作成
- ・経営管理に必要な基盤整備
- ・新しい会計基準のルールの周知と理解

—実施内容—

- ・平成25年度当初予算より、新会計基準への移行を実施した。
- ・新会計基準での運用開始による様式の見直しを実施した。
- ・会計ソフトの変更手続きと作動状況の検証を随時実施した。
- ・出納責任者会議（8月、11月、2月に実施）を通じて、会計業務と会計ルール及び新会計基準に基づく経理規定改正内容についての理解を図った。
- ・会計関係研修会への積極的参加による最新情報の収集と研修内容の伝講

—成果—

- ・新会計基準に基づく経理規定に関わる諸様式の整備と月末支払関係の新しい会計ソフトの導入を行った。
- ・専門家の助言を得ながら新しい会計基準に基づいた決算書の作成を行った。
- ・会計業務と新会計基準に基づいた経理規定改正案についての共通理解

### ② 適切な財務管理

—課題—

- ・各事業部会での中期事業計画に基づく資金計画書の作成
- ・法人の管理責任に伴うリスクへの対応

- ・会計基準に基づくルールに則った効率的な業務処理
- ・適切な会計記録の整備
- ・計画的経営推進の為の予算管理

—実施内容—

- ・平成 24 年度決算に基づく消費税関係資料作成
- ・小口現金管理の取り扱いを新しい施設で実施した。
- ・予算と実際の執行額の比較による事業計画実現に向けた補正予算資料作成
- ・法人の管理責任に伴うリスクについて、出納責任者会での学習会実施
- ・出納責任者会議において、各事業部会及び各施設での中期事業計画に基づく大規模修繕及び固定資産物品交換実施計画に基づく資金計画について協議

—成果—

- ・平成 24 年度消費税の適切な確定申告
- ・事業計画に基づく整備事業に必要な資金の調達
- ・事業計画に基づく予算と執行状況による的確な補正予算の計上と、予算差異を通じて問題点を把握し改善策を速やかに講じた。
- ・各事業部会及び各施設の中期事業計画に基づく大規模修繕及び固定資産物品交換年度別資金計画表作成(平成 25 年度～平成 29 年度)

### 3. 施設課報告

#### ①施設整備(営繕管理等を含む)

- (1)既存施設の営繕管理業務
- (2)環境整備に関する調査・研究

[具体的取組み]

利用者の支援充実と福祉施設としての機能充実を図る為に、環境整備の改善を進める。営繕整備 5 ヶ年計画 (H23～H27) を基本として、施設長及び補佐、年 4 回開催している施設営繕担当者会議等による確認や連絡調整を行いながら、各施設の営繕計画に沿った対応と利用者の処遇改善を優先した計画年度の見直しを定期的に進め、各種補助金を活用することで、当初計画に予定されていた備品整備や増築・修繕工事について自己資金の負担軽減を図るとともに、計画の見直しによって新たに要望されている内容を含めた各種整備事業の実施を行う。

また、事業の拡大と法改正に伴う支援体制の充実を図るため、利用者支援の内容に合わせた公用車の選定を導入時に進めていく。

[成 果]

営繕計画 5 ヶ年計画に沿いながら基本的には進めて来たが、利用者の支援体制の向上を優先したことによる変更や整備内容の見直しを図ったことによって来年度以降へ繰り越す部分も出て来ている。

主な施設整備として、保育事業部会では、「子どもの発達と身体リズム運動遊び」の取組みを開始したことに伴い、床のフローリング化(木製)へと改修を進めることにより、運動しやすい環境の整備を進めるとともに、遊具の更新・修繕等計画的に進めることが出来ている。また、障

がい者援護・地域生活援助の各事業部会では、利用者の居室や手洗い場など支援体制の向上となるよう環境改善を進めるとともに、作業場所周辺の舗装・機器整備等進めることで作業性の向上を図ることが出来た。なお、両部会共通の整備として、風除室の新設、エアコン設置箇所の増加や衛生面を含め老朽箇所等の修繕及び改善を進めることが出来ている。

長寿福祉事業部会（愛護苑）の建物は、建設から1年を経過後の経年検査により、不具合箇所等の改善・改修・修繕を施工依頼先である日本国土開発（株）が行い、不具合等の改善が図られている。

しかし、集中豪雨による土砂崩れや台風による屋根の破損が発生したことにより、緊急を要する修繕など、これまでになく自然災害への対応も行っている。

車両導入状況としては、事務職員用の軽自動車（1台）の新規導入、リース期間満了に伴い軽自動車の買取り（2台）を進めるとともに、利用者支援状況に合わせた車両の研究・調査を進めている。

## ②防災管理(防災対策)

### 〔具体的取組み〕

防災(災害を未然に防ぐ活動)が重要であり、防災点検の実施や福祉の森自衛消防隊の活動を通じながら防災意識の啓蒙に務める。また、各施設の防災訓練等を通じて、職員及び利用者の防災意識の啓蒙に務める。

### 〔成 果〕

グループホーム・各施設とも、定期的な防災訓練等による防災啓発活動を実施していることもあり、防災に対する意識が高くなっている。また、「観閲式」、「市消防団出初め式」、「幼年消防防火パレード」、「福祉の森総合防災訓練」等、福祉の森自衛消防隊員が積極的に出動しており、隊員は勿論のこと職員や利用者、更には地域の方々にも防災意識の啓蒙を促すことが出来た。

なお、福祉の森総合防災訓練では近隣の方々の協力による初期消火、希望の園及び地域特養愛護苑の利用者や入居者の避難誘導について、婦人消防協力会の方々に協力頂くことで災害等が発生した際の迅速な対応の確認や、地元消防団と連携した放水訓練の実施によって消防設備（消防ポンプ）の使用方法等の技術の向上を図れた。

さらに、防火点検を継続的に実施しているため、暖房器具や電気器具等の管理方法の確認や周辺状況の徹底により、火災につながるような危険個所の改善に取組み無災害を続けることができています。

また、グループホーム等の整備や設備・機器等の設置に伴う消防署との連絡調整及び、関係書類の届け出を行うことにより消防法等に則った安全の確保に努めることができた。

## ③公用車管理

### 〔具体的取組み〕

法令点検と毎月一度の自主点検項目に沿った点検の際に、車両の損傷箇所（傷・凹み等）の確認を実施することで、修繕箇所の早期発見に努めるとともに、公用車を運転する職員による使用前後の自主点検の徹底を図り、万が一破損や異常等の確認をした場合には、直ちに担当者が報告を受け、常に安全な移動が可能となるようにする。

また、公用車管理運営委員等の協力を得ながら、職員等へ安全運転に対する啓蒙活動を行う事で事故や車両破損の防止を図る。

#### 〔成 果〕

法令点検予定日に対し余裕を持った日程を設けることにより、利用者支援を優先した整備の実施や、毎月の自主点検と車両の使用前点検等による不具合箇所や破損箇所の早期によって、消耗部品や保安部品の適切な交換や、車検・定期点検時に特に注意して確認して欲しい箇所の依頼が可能であった。

また、年5回行われている全国・県民交通安全週間の重点項目及び、季節に応じて独自に注意点をまとめたポスターを作成することで、自転車や乗用装置の安全利用の促進を行った。

さらに、公用車の安全運行について、年4回開催している公用車管理運営委員会の際に事故・破損の発生状況を確認することで、施設単位でも安全運転に対する啓蒙活動を進め、小さな物損事故や破損等はありませんでしたが、特に危険な故障等は発生しておらず比較的安全に運行することができた。

## 4. 地域福祉課報告

### ①地域活動支援センター

#### — 課題 —

新たな障がい者福祉施策や奥州市・金ケ崎町の障がい福祉計画の地域生活支援事業に基づき、地域で生活する利用者のニーズを知り、その願いに応じた日々の活動や社会参加等自立に向けた支援を行うための拠点づくりを行う。

#### — 実施内容 —

奥州市水沢区の「地域活動支援センター・いこいの家」および金ケ崎町の「地域活動支援センター・金ケ崎」の利用促進とサービスの向上を目的として、「地域活動支援センターに係る連絡会議」を定期的に開催した。

また、地域に暮らす利用者の要望に応える為、生活介護事業所開設の為の連絡会議開催調整を行った。

#### — 成果 —

利用者の地域での活動の場として、利用者や地域の状況に応じた創作的活動や余暇活動、生産活動等の機会提供や社会参加・交流の促進を図る事ができている。今後も生活介護事業所を含め、事業所の機能及びサービスの向上を図り、利用者の地域生活充実を図るための支援をおこなう。

### ②障がい者の就労支援＝胆江障害者就業・生活支援センター事業の活動

#### — 課題 —

地域で暮らす利用者の雇用と生活の安定を図るために関係機関と連携し、支援を行う。

#### — 実施内容 —

- ・胆江障害者就業・生活支援センター連絡会議の開催(参加:公共職業安定所、岩手障害者職業センター、社会福祉施設、医療施設、支援学校、当事者団体、岩手県、奥州市、金ケ崎町等)
- ・職場定着支援のための在職者の交流会開催

・地域で生活し、就業を希望する利用者及び就業している利用者の就業及び日常生活、社会生活に関わる日々の支援

これらを実施しているセンターへの必要に応じた支援活動を行っている。

— 成果 —

胆江障害者就業・生活支援センター事業は順調に運営されており、地域で暮らす利用者の雇用と生活の安定に寄与している。今後も利用者ニーズや雇用条件の多様化、社会環境の変化に対応しながら事業を進めるために必要な支援活動を実施する。

### ③愛護会地域福祉推進協議会の活動

— 課題 —

「たくましい子を生み育てるための保育事業」と、「障がい者の生きがいを保障する環境づくりとしての援護事業」をすすめて来た愛護会の施設福祉で得た専門性を地域福祉活動に還元し、胆江地区を一つのエリアとして、地域福祉の向上を図る事を目的として活動している愛護会地域福祉推進協議会の目的を達成するための活動を行う。

— 実施内容 —

- ・愛護会地域福祉推進協議会役員会を開催し、会の活動や目的達成のために必要な事柄の協議を行った。
- ・愛護会地域福祉推進協議会定期総会の開催
- ・愛護会地域福祉推進協議会支部総会及び支部活動実施の連絡調整・支援業務
- ・会員拡大のための活動
- ・その他目的達成のために必要な活動

— 成果 —

愛護会地域福祉推進協議会役員会及び定期総会で協議・決定された内容に基づいて各支部活動が展開されている。支部活動は、それぞれの支部ごとに会員のアイデアや地域の状況、ニーズに合わせた活動を行い地域に貢献している。今後は、更に地域の理解を得て活発な活動が展開されるように、各支部と連絡・調整を図る。

### ④介護者養成の推進

— 課題 —

介護者の養成講習受講を計画的に推進し、愛護会職員の資質向上とサービスの向上を図る。

— 実施内容 —

介護ヘルパー講習(訪問介護員2級)に関し、平成20年度に奥州市社会福祉協議会と連絡調整を行い、社会福祉協議会での開催を依頼した。結果として平成21年度から介護ヘルパー講習が開催される事となり、社会福祉協議会および愛護会各施設と連絡・調整を行いながら講習会参加手配を行った。平成21年度は、金ケ崎町社会福祉協議会とも連絡・調整を行う事によって、同会の講習会にも参加した。

平成25年度からは、上位資格である介護福祉士資格との整合を図ることを目的として、介護ヘルパー講習(訪問介護員2級)が介護職員初任者研修に移行されたことから、この対応を行った。

- ・平成21年度受講者 9名(奥州市社会福祉協議会講習 6名、金ケ崎町社会福祉協議会講習 3名)
- ・平成22年度受講者 6名(奥州市社会福祉協議会講習)

- ・平成 23 年度受講者 5名(奥州市社会福祉協議会講習)
- ・平成 24 年度受講者12名(奥州市社会福祉協議会講習10名、金ヶ崎町社会福祉協議会講習 2名)
- ・平成 25 年度受講者 7名(奥州市社会福祉協議会講習)

— 成果 —

愛護会職員の資質向上と共に、利用者の高齢化に対応できる介護力とサービスの向上により利用者満足が図られる。

各施設の勤務調整の関係から、一度に多くの職員が受講する事が難しいため、今後も継続して計画的に活動を進める。

## ⑤ 広報活動の推進

— 課題 —

愛護会地域福祉推進協議会広報紙「愛護の友」発行と愛護会ホームページの活用により愛護会の活動を地域に広く伝えることにより地域の理解を得ると共に、より多くの方々に情報を提供することにより各施設・各事業の利用促進を図る。

— 実施内容 —

- ・愛護会地域福祉推進協議会広報紙「愛護の友」は、年3回の発行を基本とし、必要に応じて増刊号を発行してきた。編集内容は、愛護会地域福祉推進協議会の活動を紹介し、地域の皆様に理解・賛同していただくことを主眼とし、併せて愛護会各施設の活動を紹介することによって利用促進を図る内容としている。平成 22 年度からは、紙面のカラー化を図る事によってアピール性を高めた。また、平成 25 年度第 2号に於いては、増ページ(全8ページ)により内容の充実を図った。
- ・愛護会ホームページについては、各施設や事業を紹介し多くの皆様に情報を提供する内容として管理・更新している。平成 25 年度は機能の充実と速報性向上のための再構築に係る調整を行った。

— 成果 —

愛護の友・愛護会ホームページ共に目的に沿った内容で発行・運営されていることから、多くの皆様に愛護会の活動を知っていただき、理解していただく事に貢献していると考えられる。また、ホームページに於いては、各事業部会の活動の情報発信や、年3回開催されている障がい者福祉サービス事業所・フラワーセンターあいごのフラワーフェスティバル開催告知掲載などの各種情報発信も行っていることから、各事業の利用促進にも貢献していると考えられる。今後は内容の更なる充実を図り、より多くの皆様に見ていただき、発行の目的が達成されるものとしていく。

## 5. 権利擁護課報告

### ① 成年後見制度申立て並びに利用支援について

後見人審判決定者 12 名について、家庭裁判所へ提出する後見人活動事務報告書等の作成支援業務、後見人活動についての相談支援業務並びに申立て支援業務等を継続して行っている。これらの取組みの結果、自分の意思に基づいた選択や決定が可能となり、社会参加の機会が増えた。財産侵害の恐れがある利用者のセーフティネットとしての役割を果たしている。保護者等縁故者の死亡により、保護者が不在となった場合の契約代理人保護者として利用者の身元引受人的役割を果たす等の効果を上げており、今後も制度に係る利用支援を実施していく。

また、成年後見制度を学んでもらうための学習会開催については、11 月開催の愛護家族会研修会

に併せて実施。講師に権頭司法書士をお招きし、成年後見人活動の実際について、保護者・職員を対象に実施した。平成 19 年度から始まった継続的な学習会の開催により、成年後見制度に関する理解が深まり、制度利用を希望する保護者が増加していることから、今後も継続して取組みを行っている。

## ② 法人後見の取組みについて

これまでに権利擁護課 2 名が成年後見人養成研修を修了し、後見人として活動できる資格について取得を完了している。研修会や情報交換会への参加を通じて、県内外で法人後見を行う団体の情報を収集するなどし、事業成果の状況等を踏まえながら、法人後見のあり方について研究を行っている。今後も法人後見に関する情報交換会へ積極的に参加し、先進地の取組みの実際並びに仕組みづくり等について情報を得ながら、研究を進めていく。

## ③ 経営施設の福祉サービスの充実について

### ・苦情解決規程に基づく、苦情解決体制の強化

利用者並びに保護者に対して、苦情解決制度の周知徹底を図ることを目的に、苦情解決のしくみについてホームページや広報紙への掲載を行った。

また、施設に寄せられた要望等の集約を定期的に行っていることにより、情報の共有化を図ること、福祉サービスの改善事項として施設運営に役立てることができた。

今後は、リーフレット作成を行うなど、制度の普及や周知徹底について強化を図り、利用関係者が気兼ねなく要望を出しやすい環境づくりを整備していく。

### ・福祉サービスに関する苦情、要望相談会の開催

平成 25 年 11 月開催の愛護・家族会研修会に合わせて、保護者を対象とした相談会の開催を行った。第 5 回目となる平成 25 年度については、相談件数 1 件。今後も相談の機会を積極的に設け、利用関係者の皆さまに安心感を持ってサービスを利用してもらい、法人自らが福祉サービスの質及び水準の向上を図っていることを理解してもらおう機会とし、平成 26 年度以降も継続して開催する予定。

### ・福祉サービスに関するアンケート調査の実施

平成 24 年度に引き続き、利用者並びに保護者・家族を対象として、経営施設における福祉サービスに関するアンケート調査を実施した。これにより、福祉サービスに対する利用者・保護者の意向や要望を把握でき、福祉サービス向上に向けた具体的な取組みの実際に役立てることができた。

## ④ 受託年金管理業務について

平成 26 年 3 月 31 日現在における、年金管理委員会委託者 218 名。預り金合計額約 8 億 5 千万円。

平成 25 年 4、5 月に愛護会受託年金役員会・愛護会受託年金総会をそれぞれ開催したほか、愛護会受託年金管理事務規定に則り、年金管理業務を行った。年金管理委員会役員会、総会は、保護者との交流、情報交換を行う機会にもなっており、家庭送金の取扱いや利用者の生きがいを保障する年金の活用について話合う良い機会となった。

また、毎月実施している利用者の金融機関利用支援においては、利用者の金銭に対する意識に変化が見られており、これまでの取組みにおいて成果がみられることから、今後も継続して実施していく。

⑤ 補導委託に関する業務について

現在、盛岡家庭裁判所の補導委託先として登録を行っており、平成 25 年度については、2 件の受入れを実施。

対象者の更生に向けた支援体制や愛護会の事業実績、環境については、家庭裁判所からも高い評価を頂き、また社会福祉現場での様々な活動や、利用者とのふれあいを通し、対象者が自己を見つめ直し、更生に繋げていく支援は、大きな社会貢献活動となっていることから、今後も受入れの要請があった際には、施設との連携を図りながら、その役割を果たせるよう努力していく。

## (2) 保育事業部会事業報告

### 1. 部会全体の取り組み状況

- ①たくましい子を生み育てる保育実践と研究についてまとめる
  - ・職員一人一編の保育実践を書くことを目標にして各々の実践を整理している。
- ②職員の有する能力を十分に発揮できる施設経営体制を整える。
  - ・子育てサポーター認定2名、普通救命認定42名、保育活動専門員認定11名それぞれ認定講座、講習を受講できる体制を整え、認定者となり能力を発揮し保育に活かした。
  - ・部会4園による公開保育研究会を6月～1月まで計6回開催することが出来た。
  - ・一人一研究は、1回目提出後、職員会議の中で読みあい学習意見交換の後仕上を行った。
- ③利用者の願いを満足させるサービス提供を確立する。
  - ・保育サービス意向調査を行い、26年度の保育計画立案の参考とした。
  - ・部会4園で行う保育講座や講演会に互いの職員が参加しあい、学習の機会を多く持ち保育に活かすことができた。
  - ・25年度外部講師による学習会は「子どもの脳の発達と身体リズム運動」とした。全体講座、講演会は、5月に2回行った。6月～11月は、各園交代で年齢別公開保育は活発な意見交換ができた。職員にとっても子ども達にとっても効果は大きなものとなった。
- ④自らの手により策定した「倫理綱領・職員行動指針」を遵守し、職場規律を確立し、世の信頼を高める。
  - ・各園とも職員会議、研究会を利用し、保育の実際を通して学習した。
- ⑤利用者の権利擁護を考える保育サービスに努める。
  - ・個別面談を重視し、子ども一人ひとりの発達、保育園での様子等を保護者に伝え、家庭保育、親のあり方、保育園で配慮の確認をしながら保育を行った。
  - ・特別配慮の必要な子どもには、様々な講座を受け、職員もレベルアップして対応、また、病院や療育センターと連携をとって対応した。
- ⑥事業の安定  
保育園の持つ様々なノウハウを地域のために提供する。
  - 〈 金ヶ崎保育園 〉
    - ・町地区老人クラブ50周年記念式典において、年長組がオープニングに参加し式典を盛り上げた。また、奥州宇宙遊学館の「いわて銀河フェスタ2013」では、「子ども鹿踊り」を披露し、来客アップにもつなげた。
  - 〈 東水沢保育園 〉
    - ・奥州宇宙遊学館「いわて銀河フェスタ2013」と「JA祭り産直来夢くん」において、太鼓「妖精の輝き」を演奏し、来客アップにつなげ地域貢献となった。
  - 〈 たんぼぼ保育園 〉
    - ・金ヶ崎町社会福祉大会、金ヶ崎町交通安全大会、地区敬老会、地域復興感謝祭（山田町の方々を招待）、それぞれのイベント大会に「子ども鬼剣舞」を踊り協力した。
  - 〈 第二東水沢保育園 〉

- ・奥州宇宙遊学館「いわて銀河フェスタ 2013」・モラロジー研究会岩手県大会は、オープニングに太鼓「風と妖精」を演奏、宇宙遊学館雪まつりには、4・5歳児が夢あかり製作展示協力した。奥州芸術祭和太鼓の部に出演、沢山のお客様に感動をあたえ、市の担当者より感謝された。
- ・保育園の備品である外用テーブルやイス、テント、その他祭り用品を地域の夏祭りに貸し、地域の方々に喜ばれた。野外用鍋や大型コンロの貸し出しは3件あった。借りた方から感謝された。

\* 4園の地区行事参加は社会貢献につながり、また、保育園をアピールすることが出来たことで保育園の評価が高まったといえる。

## 2. 各施設の具体的運営課題に対する取り組み内容と成果

### ①金ヶ崎保育園

イ 保護者や地域ニーズに応えるサービス提供組織として、乳児保育、延長保育、障がい児保育、休日保育、病児・病後児保育事業を行った。特に病児・病後児保育は看護師2名を配置し、嘱託医の指導をうけながら保護者の要望に十分に答えることが出来た。

#### ロ 専門的支援活動の推進

ホームページは年間70回ほどの更新をおこない、地域へ子育ての情報を提供してきた。また、園開放10回、育児相談30件、金ヶ崎町1歳6か月検診への協力8回、金ヶ崎町離乳食教室4回を行う中、園内の子育て相談は勿論のこと、地域における子育て支援活動の推進に努めてきた。

#### ハ 地域社会や社会資源の積極的活用

地域の方の様々な力を保育に活かし、子ども達が豊かな生活体験、感動体験ができるように展開し、その中でいろいろな面を育んできた。特に立花先生との活動は平成15年から行い11年間継続しており、沢山の経験様々な知識を学ぶ事が出来る大変良い機会となっている。また、金ヶ崎町生活環境課の協力により開催した「リサイクル教室」年長児の「ぼくたちにも出来る」の一言から始まった「金ヶ崎保育園のリサイクル」は、一年間園全体で取り組み、地域へも発信することが出来た。このように「地域と共に」取り組み、その中で豊かな人間関係と思いやり、優しい心が育った。

#### ニ 保育園食育指導の充実

「食を営む力」を育むため、在園の父母から、家庭での人気メニュー等を教えて頂き給食に取り入れた、また、作品展示会での展示や給食日よりでは食事に関するアドバイスをを行い、地域へ発信するなどの取り組みを行った。

#### ホ 職員の資質向上を目指して

- ・乳幼児期の身体リズム運動遊びについて全職員で取り組んだ。外部講師による研修を2回おこない理論と実技を学んだ。また、実際に取り組んでいる園を見学したり、9名が実習に行き学ぶことが出来た。部会内研修は、6回行い各園の保育実践を見学・話し合いをし学習を高めた。年度末には保育実践をまとめ発表し合い、子どもを取り巻く環境、子どもの発達や保育内容について学習し、たくましい子を生み育てる保育の実践と研究を実施し、保育の質の向上と職員の資質の向上に努めた。

#### ヘ 郷土文化伝承の促進

郷土に伝わるよりよい文化を子ども達に伝えるため、皆白行山流三ヶ尻鹿踊り保存会の方から毎年協力指導を受け30年以上前から「子ども鹿踊り」を保育に取り入れている。25年度は8月奥州宇宙遊学館での「いわて銀河フェスタ2013」「金ヶ崎町夏祭り」10月「愛護会千養寺焼窯火入れ式」「愛護会秋まつり」2月「金ヶ崎町老人クラブ連合会演芸大会」等に参加し、地域の様々な行事で披露し、地域の子育て文化を地域に発信した。

## ②東水沢保育園

イ 「地域と共に」の展開として、

- ・地区民、民生委員、老人クラブ、中高生、ボランティアとの交流を深め、地域に根ざした保育活動を展開した。
- ・障がい児保育を積極的に行い、関係機関との連携をとりながら支援を行った。

ロ 分室効果を活かし乳児保育の充実

- ・0歳児の入所希望者が多くあった。
- ・高校生の保育体験を積極的に受入れ、「子どもはかわいい」と思うことにつながった。未来の保護者となり「たくましい子を生み育てる」の基礎を知らせることができた。保育体験の延べ人数は260名であった。

ハ 地域社会資源の活用

- ・水沢農業高等学校とお米作りをしたことは、地域社会資源の活用につながり、高校生との触れ合いは豊かな心を育てることにもなった。
- ・畑労働教育では金ヶ崎保育園と交流を持ちじゃがいもやサツマイモを植え収穫を一緒に行い畑の労働教育を体験した。園外活動は自然・公共施設等に出向く機会を多く持った。文化の伝承など体験を通して、教育と養護の一体した保育を行った。産直ライムくんや岩手銀河フェスタで和太鼓「妖精の輝き」を披露した。

ニ 地域の子育て支援の充実

- ・情報の収集およびホームページを活用し行事の様子や子育て支援の内容等の情報を発信した。
- ・地域に出向いた訪問保育を行い、離乳食体験、幼児食体験、調理講座、遊ぼう会等を行い積極的に子育て支援事業に取り組み、午後の訪問保育も各地区行った。又、保護者の有する力をお借りし、「自も役立っている」という気持ちを持つことで子育ての輪の広がりができた。(英語教室、ハンドメイド講座、マッサージ教室等)

ホ 「食を営む力」を育むために

- ・保護者・家庭・地域との連携を深めるために、調理講座は「食の匠」の方の協力を得、昔の料理を親子で教えていただいた。又、みそ工房「やまぶきの会」の方と一緒にみそを作ることで「食を営む力」を育むことができた。
- ・給食便りは給食の様子や好きなメニューの紹介、レシピ、ワンポイントアドバイス等を載せ、「食べる」ことや「いのち」への関心を深め、子どもの健やかな心と身体の健全育成を促した。
- ・風の子農園の収穫物を利用し収穫際、クッキング保育を全園児で行った。栄養士を中心に産地の確認、地元の産物を取り入れて給食の提供をおこなった。

ヘ 職員の資質向上

- ・各種研究会への参加

岩手県保育協議会開催各種研修会	7回
胆江地区保育協議会開催研修会	12回
奥州市教育委員会開催研修会	2回
奥州市立私保育園協議会開催研修会	3回
発達支援関係研修会	4回
全国保育士研修会等	

・保育事業部会研修

5月11日・7月13日	乳幼児期の身体リズム運動について
6月27日	5歳児の身体リズム運動について
7月11日	4歳児の身体リズム運動について
8月7日	3歳児の身体リズム運動について
8月28日	2歳児の身体リズム運動について
10月11日	1歳児の身体リズム運動について
1月21日	0歳児の身体リズム運動について

・一人一研究は全員提出

ト たくましい子への取り組み

・「たくましい子を生み育てる保育の実践と研究」についての実践集のまとめに取り組んでいる。

### ③たんぼぼ保育園

イ 地域との交流の充実

- ・南方地区自治会長・民生児童委員と子ども祭り5名、南方地区7つの老人クラブと、七夕まつり16名、収穫祭10名、小正月行事9名、豆まき集会8名、さくら組とお別れ会6名を招待して交流した。
- ・夏休み保育体験で金小28名、金中31名、金高5名の生徒と交流した。

ロ 郷土文化伝承の促進

- ・地域に伝わる「鬼剣舞」を年長組の保育に取り入れ、愛護会愛の塔奉納式・金ヶ崎町夏祭り・地区敬老会・運動会・金ヶ崎町交通安全大会・金ヶ崎町社会福祉大会・老人演芸大会で7回披露して、地域への子育て文化を発信した。

ハ 町や関係機関との連携

- ・地区センター主催の子育てサークルへの子育て講演と保育園見学を行った。
- ・町から委託されている療育教室（チューリップ広場）を34回実施した。

ニ 地域の多様なニーズに合わせた子育て支援

- ・全保護者を対象の子育て講演会5回、全園児の個別面談（年長組は2回）を行い、子育て支援を行った。
- ・一時預かり保育では、入所していない地域の子どもを318名受け入れた。

ホ 畑づくりを通して、幼児期の労働の心を育む。

- ・地域の方の好意で畑を3箇所お借りして、地域の方と一緒に畑づくり、収穫ができた。また、第二東水沢保育園と交流しながら、合同畑づくりも行った。

ヘ 保育園食指導の充実

- ・保育参加日におかず給食の試食・祖父母学級におやつ給食の試食を通し、手作りの大切さを啓蒙した。
  - ・誕生日当日は、その子のために特別メニューを特別皿で提供して、食べることの楽しさを伝えた。
- ト 職員の資質向上
- ・保育参加日で3・4・5歳児の保護者と「たくましい子について」の話し合う機会を設定したことで、保護者と共通理解する場面をつくった。
  - ・身体運動リズム遊びの研修を通し、子どもたちに模倣しながら身体をコントロールする楽しさを伝えた。

#### ④第二東水沢保育園

- イ 子育てコミュニティーの再生・創造を目指し交流の基盤づくりをすすめる
- ・地域の様々な行事等に参加させていただいた。JA産直来夢くんのいちご園開会準備のイベントに5歳児が招待を受け開園の協力をした。
  - ・地域に住んでいる老人との触れ合いは、定期的に「お弁当はこび」として位置づけ行った。(年に10回) ひなまつり会に園児がご招待をうけ、昔ながらの行事を体験させていただき、ゆったりした交流をした。
  - ・奥州市の文化祭には太鼓「風と妖精」で参加。多くの市民との交流が出来たり、大きな感動をあたえることができ、市の文化祭に貢献できた。
  - ・創立10周年記念文化祭には、地域の方々の作品出展者が22名、地域の方々のアトラクションが5件あり園児以外の来園も多く賑わった。また、原中五区町内会、長泉寺祭りなど地域の行事には、イス、テント、テーブル、その他園にある物品を利用させていただき、交流の場となった。
- ロ 各種事業を連携的に展開することで、充実した多機能性を目指す
- ・生後2か月からの保育を受け入れる
  - ・放課後児童育成 学童風の子クラブ利用児童26名
  - ・一時預かり保育による受け入れ 153名
  - ・中高生ボランティア交流延べ人数140名
  - ・障がい児保育は、重度児が3名、支援員や保育士が1対1で担当し、同年齢クラスで保育を行ってきた。県の療育センター、小児精神病院、市療育センター、県立支援学校等の、他機関との連携もスムーズにできる関係が構築されつつある。
- ハ 地域社会資源を活用した創意工夫の保育として
- ・欧州宇宙遊学館を見学、星や月、天体の話をきいたり、そのことをきっかけとして、科学あそびを体験したり、見せて頂いたり、科学の不思議や面白さを体験した。(シャボン玉あそび、プロペラで動く小型船、かまぐららのプラネタリウム等)
  - ・理科の得意な方に水圧でとぶロケットあそびや一緒に野原を散策し、草花あそびで昔のあそびを伝えていただく。親子のふれあいにもなった。
  - ・保護者が務めている会社、事業所をお願いしてもらい、大型の働く車に乗車したり、動かして見せてもらう。
- ニ 「食を営む力」を育むため保護者、家庭、地域との連携を深める

- ・親子で食に関心を持ってもらうねらいで、家庭での食事、内容、時間、悩みなど、アンケート調査を行い、分析結果を文化祭に展示した。資料配布も行った。
- ・風の子農園の野菜は、保育の中で年齢に相応しいクッキングをしながら楽しんだ。やきいも、やきとうもろこし、みそ汁、サラダ、漬物、煮物等々、子ども達も食欲が進んだ。
- ・季節の行事には、地域の方々をおよびして行事食をふるまい園児と一緒に食していただいた。子ども達のつくった野菜も食していただく。(ひな祭り、小正月等)

ホ 職員の資質向上を目指して

- ・各種研修会への参加
 

岩手県保育協議会開催各種研修会	7回
胆江地区保育協議会開催研究会	13回
奥州市教育委員会開催研修会	3回
奥州市私立保育園協議会開催研修会	3回
発達支援関係研修会	4回
全国保育士研修会等	
- ・保育事業部会研修
 

5月11日・7月13日	乳幼児期の身体リズム運動について
6月27日	5歳児の身体リズム運動について
7月11日	4歳児の身体リズム運動について
8月7日	3歳児の身体リズム運動について
8月28日	2歳児の身体リズム運動について
10月11日	1歳児の身体リズム運動について
1月21日	0歳児の身体リズム運動について

- ・一人一研究は全員提出

へ 「たくましい子を生み育てる保育の実践と研究」 についての実践集まとめに取り組んでいる。

⑤金ケ崎町子育て支援センター (地域子育て拠点事業)

イ 地域に根差した拠点としていつでも誰でも楽しく利用できる交流の場の提供

- ・開所日月平均24日、0から5歳児の子育て親子が来所し、屋内外広い施設で親子のふれあいより楽しめるように小山で滑りっこ等、あそびの提供を行い交流した。
- ・年間延べ利用者数7,731名、一日平均27名 親子数にして11組の利用があった。愛護会4園遠足の場所として来所する等、園児と親子が交流を深める機会を持った。

ロ 子育て相談の充実

- ・日々の寄り添い支援、電話、メール相談等の機会を持ち、相談しやすい工夫に努めた。
- ・子育て相談総数 合計381件。関係機関(町保健師・保育園)に、連携を図り進めた。

ハ 育児に関わる情報の収集及び提供

- ・新聞や広報等の記事を掲示。親子サークルの情報や地域のイベント等のチラシ掲示や配布、メール一斉配信については年間22件配信した。HPをみて来所という方が増えている。

ニ 子育てサークルの育成支援

- ・各地区に子育てサークル8団体が活動している。子育て支援センターとして、おもちゃ貸出し、講座の参加協力やPR等協力し支援した。
  - ・親子サークル結集の取り組みとして、町民自主講座4回開催した。4回目は「ミニミニテーマパーク」親子と学童との交流として、親子46名の参加があった。子育て支援センターが会場、事務局となりサポートした。
- ホ 各関係機関などの連携、必要に応じ要支援家庭への訪問
- ・孤立化防止のために関係機関（町保健師・保育園・療育相談専門員・民生委員・幼稚園）と、連絡を取り関わった。
  - ・町要保護支援対策推進の取り組みとして、町内地域ごと人権擁護委員6名による「パパママ人権教室 ひとりひとり大切な私」というテーマで講座を行った。親子28名の参加があり、人権について学び積極的に語り合う場となった。
- へ 各種講座や講習会の開催
- ・町家庭教育学級として、木村純子氏子育て講座 親子のふれあいの大切さ「まなかい」についてテーマとし開催。親子38名が楽しいあそび体験を通して学んだ。

## (3) 障がい者援護事業部会事業報告

### 1. 部会実践課題の取り組み状況

新体制づくりの課題とともに援護事業部会として、下記の課題に取り組んだ。

- ・本人の意志に基づいた支援計画作成の定着と支援の実践  
支援計画作成に当たり、本人と話し合い作成することは定着している。またその結果についてのモニタリングも定着し、必要な修正は都度行われ本人意志に基づいた支援が図られている。
- ・法の目的に則った事業の安定した運営（職員の意識共有と収入確保）の体制の確立  
体制の確立は、職員補充がうまくいかず、今後の収入の確保に問題を残している。計画的な職員確保の方策確立は急務となっている。
- ・利用者の実態（高齢化、障がいの多様化）に即した処遇技術と環境の研究と確立  
利用者の実態に即した処遇の研究は把握も含め進んでいる。

### 2. 部会重点課題の取り組み状況

#### (1) 施設の具体的将来の姿構築の研究

5か年計画の中間年度として今年度は利用者の実態状況把握を行うことが課題となっていた。把握は進んでいて、その人に必要な支援も実践されている。将来必要な支援も検討は進んでいる。平成26年度は施設に求められているものは何かを研究していく年としたい。

#### (2) 本人希望調査によるサービス内容の精査、検討

本人の望んでいるサービス内容はある程度つかめてきている。普段で対応できるものは対応するという職員側の姿勢もできている。

#### (3) 適切な職員配置の検証

職員補充が思うように進まず適切な配置の検証には至らなかった。

#### (4) 人材育成（資格取得）体制の再検討

資格取得は進んでいる。長期に学習が必要な資格取得に向けたバックアップは今年も進まなかった。

#### (5) 処遇技術の向上

情報等の入手に積極的に取り組んできており、確実に向上している。

#### (6) サービスの質の向上にむけた業務改善提案のさらなる推進

業務改善提案は少ないが、改善は進んでいる。提案の推進を継続していく。

#### (7) 日中活動の生産・創作活動の新体制の検討、構築

利用者本人の状況等にあつたニーズに応えた活動内容にできることは話し合いで変えてきているが、全体的な体制構築までは至っていない。継続して検討をしていきたい。

#### (8) フラワーセンターあいご・フレンドワークさくらかわの新規作業の検討、試行、導入と利用定員の増の検証と実施

新規作業の検討等予定どおり進まなかった。継続した検討を行っていく。定員の増については今後の利用者等の状況を見て進めるとともに、就労継続B型事業所の新規設立も検討する。

### 3. 各施設の運営課題の取り組み状況

### (1) 障がい者支援施設 静山園

- イ 日中活動の3事業（就労移行、自立訓練、生活介護）体制の確立  
就労移行、自立訓練は想定の移行につながらず、見直しを余儀なくされている。  
各事業の定員と訓練内容の見直しを開始している。
- ロ 安心できる入所支援の提供  
議論を行っているが今後も継続した研究課題となった。
- ハ 各事業と総体的に適切な職員体制の確立  
体制の確立に至らなかった。まずは職員の確保を進めたい。
- ニ 利用者一人ひとりのニーズの把握と、確認作業を継続して進める  
確実に行われているが変化の速さに対応しきれない場合もある。

### (2) 障がい者支援施設 希望の園

- イ 利用者の高齢化・重度化に伴い、一人ひとりの状況を把握しながら、安心して生活できるような健康管理・食生活・サービス提供の充実を図った。
- ロ 充実した施設運営を目指し、実態に即した職員配置と日中活動の検討、支援の在り方の研究を進める。  
職員数が減員となり、実態に即した職員配置になっていない現状があり、利用者への十分なサービス提供が出来ないことがあったが、パート職員を日中活動に配置することで日々のサービス提供の充実に努めた。  
日中活動内容については、利用者の要望・意見を反映させて楽しみを持ちながら意欲的に参加できるように、活動班毎に新しい内容を取り入れながらサービス提供を実施してきた。日常生活支援に関しては、安全確保を行いながら利用者の能力を活かしながら支援を行うことが出来た。
- ハ 快適な生活が送れるよう、利用者の状況に添った生活環境の充実と衛生的な環境作りを目指した。  
福祉用具の利用、医療機器の活用、住環境の充実に努め、安全で衛生的な過ごしやすい環境づくりができた。
- ニ 適切な利用者支援の確保を図るため、苦情解決・虐待防止を推進しサービスの向上に努める。  
利用者・家族からの苦情に対しては、早急に検討・対処しサービスの質の向上に努めた。虐待防止については、職員会議で愛護会の定める「虐待防止規程」を職員で復唱し意識の徹底・統一を図り適切な支援の確保が出来た。

### (3) 障がい者支援施設 興郷塾

- イ 利用者の意向に伴い、多様な福祉サービスを提供できる支援体制の充実に努める。  
利用者個々の要望に応じて、個別支援計画を策定し日中活動支援及び夜間支援において、必要な体制を整備し実践に努めた。
- ロ 利用者の重度・高齢化に伴い、利用者の実態を的確に捉えながら必要に応じた援助、支援ができる支援体制の見直しを進めていく。  
近年、利用者の高齢化に伴い、体調の変化や緊急時の対応が増加傾向にあり、必要な対応ができる支援体制の見直しと整備に努めた。

- ハ 利用者の健康及び栄養管理の充実を図り、健康保持に努める。  
日々のバイタルチェック及び適切な栄養管理のもと個々の嗜好や身体状況に応じた食事提供により健康の保持に努めた。  
又、各種検診により、疾病の早期発見と対応に努めている。
- ニ 苦情処理、虐待防止の取り組みを推進し、適切な支援体制の確立に努める。  
苦情解決規程、虐待防止規程の共通理解を深め、権利擁護の意識を高めながら適切な支援がなされるように努めた。
- ホ 安心で安全な生活環境を保障するため、施設点検及び防災訓練を実施する。毎月の施設点検及び防災訓練を実施し、安心で安全な生活環境の整備に努めた。  
利用者の状況として、高齢化に伴い身体機能が低下してきているため現在の住環境において、十分な配慮が必要な利用者が増えてきている。

#### (4) 障がい者福祉サービス事業所 フラワーセンターあいご

- イ 地域生活者の生産活動の拠点として、利用者のニーズを正しく導き出し、個々の願いに応じて自立した社会生活が営めるように支援体制の充実に努める。  
年度ごとの個別支援計画の策定において利用者からの要望および日中活動支援の事業所として個々に必要なサービスを盛り込み、満足のいく福祉サービスに努めている。  
今年度は利用率も 100%を超え、安定した利用状況の中、利用者の精神的な安定が保たれ楽しく事業所の利用をして頂けるように接遇及び支援技術の向上に努めてきている。
- ロ 通所の事業所として地域生活者の生活の安定を図る為、生産体制の充実を図り、工賃の引き上げに努める。  
地域生活者の経済的安定を図る為、工賃向上計画を策定し生産体制の充実及び販売活動の促進に努めている。  
平成 25 年度は昨年度の時給単価 120 円から 20 円アップさせ平均工賃が 12,000 円を超える支給状況となっている。併せて平成 25 年度の実績により、平成 26 年度は目標工賃達成加算(Ⅱ)を算定することになっている。
- ハ 新事業体系移行後の基盤整備に努め、利用者の生き甲斐を保障できる安定した事業体制を早期に実現できるように努める。  
新事業体系に移行し 3 年目の年度を迎え、利用者のニーズに即したサービス体制は職員の配置を含め整うことができている。  
今後も利用者の増員や多様化する福祉サービスに対応できるように体制の見直しを進めていきたい。

#### (5) 障がい者福祉サービス事業所 フレンドワークさくらかわ

- イ 地域生活者の生産活動の拠点として、利用者のニーズを正しく導き出し、個々の願いに応じて自立した社会生活が営めるように支援体制の充実に努める

通所事業所の役割として、地域生活をしている利用者が安定して生活できるように個々のニーズに応じたサービス提供に努めている。

利用状況として定員に対して 100%を超えており、安定した状況にはあるが精神障害者の方の支援に於いて苦慮することが多く、更なる利用率を高めるため職員の資質の向上に努めている。

- ロ 通所の事業所として地域生活者の生活の安定を図る為、生産体制の充実を図り、工賃の引き上げに努める。

平成 25 年度の実績として昨年度の時給単価 200 円から 10 円引き上げ月の支給額が 25,000 円程度となっており、県の平均工賃額より 10,000 円程度超える実績となっている。

目標工賃達成加算（Ⅱ）も引き続き算定できる状況にあるが、今後の課題として利用率の向上に伴い、工賃支給額が減少しない様に更なる生産体制の充実と新規作業の導入の検討が必要とされる。

- ハ 新事業体系移行後の基盤整備に努め、利用者の生き甲斐を保障できる安定した事業体制を早期に実現できるように努める。

新事業体系に移行し 3 年目の年度を迎え、新制度に基づいたサービス提供体制は整い、利用者ニーズに応じた支援に努めている。

近年、福祉サービスが多様化していることを痛感しており、求められるサービスに対応できる支援スキルと体制作りが今後の課題とされる。

## (4) 障がい者地域生活援助事業部会事業報告

### 1. 部会全体の取り組み状況

法律の改正により地域生活をする利用者は増加しサービス基盤の整備も進んでいるが、平成25年度から施行となった障害者総合支援法では、障がい者の定義に難病、発達障害の方々を含める他、ケアホーム、グループホームの名称をグループホーム（共同生活援助）に統一になっている。

また障害程度区分から障害支援区分への名称変更になっている。障害者総合支援法になって用語変更、制度の改正が少なからず実施されてきている。

地域生活援助事業部会では、地域生活援助センターをバックアップ拠点としてグループホームを27ヶ所、総合相談センター事業（胆江障害者就業・生活支援センター、相談支援センター、居宅介護事業）、地域活動支援センター事業2ヶ所の事業に取り組んできた。特に胆江障害者就業・生活支援センター（雇用安定等事業）就業件数49件、実習研修69件と過去最高の実績となっている。

部会全体の職員の質の向上として、平成25年度は、新たに介護福祉資格を2名が取得し計8名となった。また、社会福祉士を2名が取得し計3名、精神保健福祉士1名、世話人のホームヘルパー2級等計22名となっている。管理職においては、第一種衛生管理者の資格を取得している。更には、相談支援従事者養成研修や、サービス管理責任者研修など職員一同、各職種・各組織の多様な研修に参加してきた。

施設整備面では、地域活動支援センターいこいの家を利用している方々の障がいの重度化が顕著になってきているため、生活介護事業を立ち上げる準備を進めてきており平成26年4月1日開所したところである。

最後に福祉事業を取り巻く情勢は日々変化しており、厳しい経営状況が続いていますが、利用者の満足度アップを図ることが運営の基本であることを認識し、今後も職員の育成に努めると共に、利用者のニーズに適切に対応し、地域のネットワークを充実させ、地域福祉の向上に努めて参ります。

### 2. 各事業の具体的運営課題に対する取り組み内容と成果

#### (1) 地域生活援助センター（共同生活介護・ケアホーム、共同生活援助・グループホーム）

平成25年度は27ヶ所（定員：107名）で運営を行ってきた。

利用者の高齢化が進んでおり、急な疾患や、生活習慣病を発症するなどの状況が見られ、職員間で連携を図りながら支援を行ってきた。

インフルエンザ等の感染症については職員や職員の家族の中にも罹患する者もおり、その都度職員体制を見直し、ホーム内に持ち込まないように、さらには感染者を増やさないよう努めてきた。職員間では、感染症の学習会を開催し、また感染症対策の備品など備え対策を行ってきた。

また、利用者の生きがいを保障するため、日中活動の安定に取り組んできた。企業在職者への職場訪問をし、離職した利用者へは、再就職支援を行ってきた。また就労継続A型事業所、B型事業所などとも連携を図りながら支援を行ってきた。更には高齢者における日中活動については介護保険制度などを利用しながら支援を行ってきたケースもある。

利用者個々の状況把握や希望に沿った支援は大切であり、その都度ケース会議を行い適切な支援を

提供できるよう支援してきた。

最後に職員体制についてであるが、当初の予定から1名減員の体制のまま年度終了となった。福祉業界での人材の争奪が激しい中で、より働きやすく魅力ある職場環境づくりは今後の課題の一つと捉える。

## (2) 愛護会障害者相談支援センター

平成24年4月からサービス利用計画作成が本格施行となり、本年度もその対応に追われた一年であった。平成25年度は利用者88名分を作成している。

平成26年度からはサービス等利用計画は福祉サービスを利用している全ての障がい者が対象となる。愛護会の障がい者福祉サービスを利用している利用者だけでも、約290名おり平成26年度末までに全ての利用者に計画作成を提出することが見込まれるため、本事業の重要課題と考えている。奥州市、金ケ崎町から委託を受けている基本相談については、本年度も継続して行った。

## (3) 胆江障害者就業・生活支援センター（雇用安定等事業）

関係機関の協力もあり、過去最高の実績をあげている。平成25年度は、就職件数49件、職場実習件数69件と昨年度末（就職件数36件・実習研修37件）の実績を超えた。これは、景気の回復や、復興需要による求人増のためと考えられる。また法定雇用率が2.0%に引き上げられたことなどからも従来以上に、企業側が積極的に取り組んだものと考えられる。

平成30年度には、精神障害者も法定雇用率に加わることから、今後一層、精神障害者の雇用に向けて取り組んでいかなければならない。

## (4) 胆江障害者就業・生活支援センター（生活支援等事業）

生活支援は、障がい者が生活していくうえであらゆる面の支援をすることが多く、今年度も金銭に関する事、健康に関する事、手続きに関する事等を中心に支援を行ってきた。

その中でも困難事例などはケア会議・関係機関との合同家庭訪問などを行いながら対応してきた。

また今年度は、福祉サービスを利用している利用者が多く、サービス利用計画が必要になり相談支援専門員との連携も重要であった。

## (5) 指定介護事業所 あいご

ニーズに対応していきながら利用する方の裾野を広げていき、障がい者が安心した地域生活を送れるよう支援してきた。また小規模なサービスであるが、利用者に喜ばれるサービス提供をしていくことを優先課題とし、そのためには、清潔で丁寧なサービス提供に努めるとともに、ホームヘルパーの質も高めていけるよう努力してきた。

## (6) 職場適応援助（第1号ジョブコーチ）事業

平成25年度の新規目標支援件数である5件を超え、7件にのぼっている。平成25年度支援件数は職場適応援助、フォローアップ併せて15件であり、前年度の水準を維持したと言える。業種内訳としては酒類量販店、衣類量販店、食品流通、小売大型店で製造業は皆無であった。支援対象者の障がい別では、近年増加している発達障がい、精神障がいに加え高次脳機能障がいの方を初めて支援して

いる。

企業の障がい者雇用への積極的取り組みに伴い、職場適応援助者へのニーズが益々増加していると言われているが、雇用が進む事により、職場適応援助実施事業者に対する助成金の原資となる雇用納付金が減少するという現象も現れていると思われ、いずれ職場適応援助の実施方法に影響が出る事が予想される。

#### **(7) 地域活動支援センターいこいの家**

利用者個々のニーズに応じたサービスを提供しているが、休日支援には利用希望者が多く利用調整に苦慮した。

利用者の高齢化への対応として懸案であった生活介護事業所ときわ寮を新設し、地域活動支援センターいこいの家および地域活動支援センター金ヶ崎と連携して事業展開を図る。平成 26 年度の課題は、生活介護事業所ときわ寮の改築を計画に沿って進める。

#### **(8) 地域活動支援センター金ヶ崎**

利用者個々のニーズに応じたサービスを提供しているが、休日支援には利用希望者が多く利用調整に苦慮した。

利用者の高齢化への対応として懸案であった生活介護事業所ときわ寮を新設し、地域活動支援センターいこいの家および地域活動支援センター金ヶ崎と連携して事業展開を図る。平成 26 年度の課題は、生活介護事業所ときわ寮の改築を計画に沿って進める。

## (5) 長寿福祉事業部会事業報告

### 1. 部会全体の取組み状況

(1) 自宅での生活と出来るだけ近いものを目指しながら実践を進めて参りましたが、現状は介助(食事・入浴・排泄等)中心の支援となっている。勿論、生活の重要な部分ですので、きっちりとした実践をすることが大前提であるが、余暇支援等をもっと取入れ、入居者の笑顔が多く見られる様な活動を行っていきたい。

入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、入居者が自立的な日常生活を営むことを支援していくことがユニットケアの原点であり、入居者の尊厳ある暮らしの実現に向けて、愛護苑としては力になれるように支援をしていきたい。

(2) 長期入居者のご家族には、入居前の自宅で生活をされていた時と同じような生活を愛護苑でも送って欲しいとの説明をしており、今まで自宅で使用していた筆筒等を持ち込み、自宅と同じような雰囲気を出し出す場所をつくることのお話をさせて頂いている。

(3) 愛護会地域福祉推進協議会区町支部との連携の中で、今後も区町支部と連携しながら様々な情報を取り入れ、高齢者福祉の向上に努めて参りたい。

### 2. 施設運営の具体的運営課題に対する取組み内容と成果

(1) 安全性への配慮、プライバシーを守れる空間づくり等の入居支援の実践を進める。

また、入居者やご家族への安心感を与えながら 全ての部門でのチームワークを発揮し、より良いサービスの構築を図って行くことが重要である。

(2) 入居者一人ひとりのニーズに合わせた、生活支援等のサポートを進めて来たが、まだ不足な面のところがあり、今後の課題であると感じている。

(3) 介助並びに行事や面会を通して、入居者やご家族との関係が稀薄にならないように、お話しをしたり、現状報告に努めた。

(4) 収入確保、支出の削減の必要性については、理解浸透を図れたのではないかと考えるが、実際に無駄の排除が出来ているのかは確約が無い。よって、水道光熱費等の削減、オムツ、リネン等の経費を如何に効率的に使用する為の検証が必要と考える。

(5) 平成 25 年度は、職員研修 25 回(外部研修 15 回参加、内部研修 10 回実施・参加)をし、知識・技術の習得に努めた。しかし、まだ知り得ないことが沢山あるので、今後も引き続き研修を実施する。

## (6) 地域に開かれた事業運営の状況

### 1. 福祉関係養成校等の研修生等受入状況(平成 25 年度)

学校名	実人数	延べ人数/日	受入施設
専修大学北上福祉教育専門学校	2	20	金ヶ崎保育園
尚綱学院大学	1	20	金ヶ崎保育園
宮城学院女子大学	1	10	金ヶ崎保育園
修紅短期大学	1	11	金ヶ崎保育園
盛岡大学短期大学部	1	20	東水沢保育園
修紅短期大学	2	20	東水沢保育園
東北文教大学	2	6	東水沢保育園
協和学院水沢第一高等学校	2	10	東水沢保育園
水沢農業高等学校	2	6	東水沢保育園
盛岡大学短期大学部	1	20	第二東水沢保育園
専修大学北上福祉教育専門学校	1	10	第二東水沢保育園
修紅短期大学	3	30	第二東水沢保育園
協和学院水沢第一高等学校	2	6	第二東水沢保育園
盛岡県立大学看護学部	3	3	金ヶ崎町子育て支援センター
尚綱学院大学	4	44	静山園
盛岡大学短期大学部	3	33	静山園
個人の体験訓練	1	5	希望の園
尚綱学院大学	2	20	興郷塾
合計	34	294	

### 2. ボランティア受入状況(平成 25 年度)

学校名・氏名等	実人数	延べ人数/日	受入施設
金ヶ崎町立金ヶ崎中学校	5	10	金ヶ崎保育園
東北福祉大学	1	4	金ヶ崎保育園
岩手県立水沢高等学校	5	5	東水沢保育園
岩手県立金ヶ崎高等学校	2	2	東水沢保育園
岩手県立水沢商業高等学校	2	2	東水沢保育園
協和学院水沢第一高等学校	3	3	東水沢保育園
岩手県立岩谷堂高等学校	2	2	東水沢保育園
修紅短期大学	1	1	東水沢保育園
保育体験生徒(中学生)	14	39	東水沢保育園
保育体験生徒(高校生)	133	265	東水沢保育園
金ヶ崎町立金ヶ崎小学校	27	44	たんぽぽ保育園
金ヶ崎町立金ヶ崎中学校	31	31	たんぽぽ保育園
岩手県立金ヶ崎高等学校	5	9	たんぽぽ保育園
奥州市立東水沢中学校	75	95	第二東水沢保育園

奥州市立水沢中学校	4	4	第二東水沢保育園
奥州市立水沢南中学校	140	144	第二東水沢保育園
協和学院水沢第一高等学校	2	6	第二東水沢保育園
岩手県立水沢高等学校	8	8	第二東水沢保育園
個人	1	1	第二東水沢保育園
読み聞かせサークル いちごミルク	3	3	第二東水沢保育園
つじやまがく	1	3	第二東水沢保育園
人形劇グループ うどの大木	5	5	第二東水沢保育園
消防署	4	4	第二東水沢保育園
株式会社みちのくクボタ	2	2	第二東水沢保育園
鳳馬蘭	20	28	第二東水沢保育園
地域の方(草刈り・ヨガ講師・先輩ママの行事手伝い)	10	40	金ヶ崎町子育て支援センター
陶芸支援	1	16	静山園
マックスバリュー北上店	2	2	静山園
水沢農業高等学校生徒	7	7	静山園
個人ボランティア	3	3	希望の園
利用者家族	4	4	希望の園
マックスバリュー北上店	2	2	興郷塾
オルガンコンサート	3	3	興郷塾
歌声クラブミニコンサート	6	6	興郷塾
大道芸人演奏会	1	1	興郷塾
二胡サークル演奏会	4	4	興郷塾
ギターと弾き語り	1	1	興郷塾
やっと連仙台(阿波踊り)	30	30	興郷塾
金ヶ崎保育園交流会	30	30	愛護苑
見分森カラオケ同好会(2回)	19	19	愛護苑
こじか幼稚園交流会	29	29	愛護苑
学校法人北杜学園仙台医療福祉専門学校	2	2	愛護苑
合計	650	919	

### 3. 施設内行事等への地域住民の受入状況(平成25年度)

行事内容	実人数	受入施設
子どもまつり	10	金ヶ崎保育園
じゃがいも植え	1	金ヶ崎保育園
野鳥の観察会	1	金ヶ崎保育園
さつまいもの苗植え	2	金ヶ崎保育園
お月見行事	1	金ヶ崎保育園
運動会	51	金ヶ崎保育園
さつまいも掘り	2	金ヶ崎保育園
樹木の観察会	1	金ヶ崎保育園
クリスマス会	32	金ヶ崎保育園
小正月行事	1	金ヶ崎保育園

お店やごっこ	21	金ヶ崎保育園
ふれあい会(分室)	5	東水沢保育園
梅ジャムづくり	3	東水沢保育園
ひなまつり(分室)	5	東水沢保育園
子どもまつり	15	東水沢保育園
夏まつり	30	東水沢保育園
運動会	30	東水沢保育園
文化祭	80	東水沢保育園
ちぎり絵教室	3	東水沢保育園
小正月	13	東水沢保育園
ひなまつり	12	東水沢保育園
節分	3	東水沢保育園
総合避難訓練	3	東水沢保育園
味噌づくり	5	東水沢保育園
子どもまつり(自治会長・民生児童委員との交流)	5	たんぼぼ保育園
さつまいもの苗植え	3	たんぼぼ保育園
七夕集会(藤巻老人クラブとの交流)	16	たんぼぼ保育園
収穫祭(谷地上下老人クラブとの交流)	10	たんぼぼ保育園
運動会	34	たんぼぼ保育園
文化祭	39	たんぼぼ保育園
小正月行事(横道上下老人クラブとの交流)	9	たんぼぼ保育園
発表会	30	たんぼぼ保育園
節分行事(御免老人クラブとの交流)	8	たんぼぼ保育園
餅つき	6	たんぼぼ保育園
お別れ会(高谷野老人クラブとの交流)	6	たんぼぼ保育園
子どもまつり	12	第二東水沢保育園
夏まつり	32	第二東水沢保育園
運動会	40	第二東水沢保育園
文化祭	85	第二東水沢保育園
総合避難訓練	9	第二東水沢保育園
ちぎり絵教室	4	第二東水沢保育園
小正月	8	第二東水沢保育園
節分	6	第二東水沢保育園
豆腐づくり	2	第二東水沢保育園
ひなまつり	10	第二東水沢保育園
夏まつり	10	金ヶ崎町子育て支援センター
社会福祉施設による地域施設見学	15	金ヶ崎町子育て支援センター
いも煮会	9	金ヶ崎町子育て支援センター
クリスマス会	8	金ヶ崎町子育て支援センター
福祉の森春まつり	3	静山園
ふれあいの丘公園夏まつり	3	静山園
あすなる会との交流会	37	希望の園
家族交流会	1	希望の園

福祉の森夏祭り	3	希望の園
クリスマス会	1	希望の園
勤労感謝祭	80	地域生活援助センター
花火大会(夏まつり)	5	愛護苑
敬老会	3	愛護苑
クリスマス会	42	愛護苑
黒田助獅子舞	12	愛護苑
合計	936	

#### 4. 地域行事等への参加状況(平成 25 年度)

行事内容	実人数	参加施設
金ヶ崎町夏まつり むかでマラソン	40	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町街地区文化祭	80	金ヶ崎保育園
いわて銀河フェスタ 2012	36	金ヶ崎保育園
街地区老人クラブ連合会創立50周年式典	35	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町環境大会	32	金ヶ崎保育園
町内会泉公園草取り	10	東水沢保育園
原中5区町内会新年会	1	東水沢保育園
原中5区町内会総会	1	東水沢保育園
金ヶ崎町夏まつり	81	たんぼぼ保育園
金ヶ崎町藤巻地区新年会	1	たんぼぼ保育園
町内会泉公園草取り	11	第二東水沢保育園
原中5区町内会夏まつり	5	第二東水沢保育園
原中5区町内会新年会	1	第二東水沢保育園
原中5区町内会総会	1	第二東水沢保育園
西部地区生涯教育センター敬老会遊戯参加	45	金ヶ崎町子育て支援センター
ふれあいの丘公園花壇花植え作業	10	静山園
羽田地区市民運動会	4	静山園
羽田躍進まつり	3	静山園
エリカミニライブ(羽田小学校)	42	静山園
ふれあいの丘公園夏祭り	50	希望の園
コープあてるい福祉祭り	2	希望の園
羽田躍進祭り	2	希望の園
奥州市チャレンジデー	60	希望の園
警察犬錬成大会	3	希望の園
奥州市チャレンジデー	60	興郷塾
黒田助地区早朝草刈作業	5	興郷塾
ふれあいの丘公園夏祭り	70	興郷塾
黒田助振興会総会	3	興郷塾
ふれあいの丘公園花壇花植え作業	20	興郷塾
警察犬錬成大会	5	フラワーセンターあいご
鋳物まつり	8	フラワーセンターあいご

原中5区町内会夏まつり	25	地域生活援助センター
原中5区町内会新年会	3	地域生活援助センター
原中5区町内会総会	3	地域生活援助センター
原中6区町内会総会	1	地域生活援助センター
福祉の森秋まつり	7	愛護苑
合計	766	

#### 5. 地域福祉関係者や市民団体との交流会等への参加状況(平成 25 年度)

行事内容	実人数	参加施設
金ヶ崎町いきいきシルバースポーツ大会	33	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町街地区敬老会	27	金ヶ崎保育園
愛護会愛護苑入居者との交流	31	金ヶ崎保育園
うたの花束コンサート	36	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町老人クラブ連合会演芸大会	36	金ヶ崎保育園
いわて銀河フェスタ 2012	17	東水沢保育園
JAまつり	17	東水沢保育園
奥州太鼓フェスティバル	17	東水沢保育園
シルバースポーツ大会	26	たんぼぼ保育園
金ヶ崎町南方地区敬老会	29	たんぼぼ保育園
金ヶ崎町民文化祭(うたの花束)	28	たんぼぼ保育園
金ヶ崎町老人クラブ連合会演芸大会	29	たんぼぼ保育園
教育研究会岩手会場	41	第二東水沢保育園
いわて銀河フェスタ 2013	41	第二東水沢保育園
奥州たいこフェスティバル	41	第二東水沢保育園
ナイスハートふれあいのスポーツ大会	54	静山園
第 17 回岩手県障がい者スポーツ交流会	9	静山園
平成 25 年度奥州市水沢区ボランティアフェスティバル	4	静山園
岩手県手をつなぐ育成会県大会本人大会	3	静山園
アテルイの里障がい者芸術祭	7	静山園
第 13 回前沢福祉の里まつり	4	静山園
第12回福祉まつり	9	静山園
奥州市ボランティアフェスティバル	2	希望の園
ナイスハートふれあいのスポーツ広場	15	興郷塾
前沢福祉の里まつり	30	興郷塾
知的障害者福祉協会第17回スポーツ大会	3	興郷塾
岩手県障がい者スポーツ大会	2	興郷塾
コープ福祉まつり	5	フラワーセンターあいご
前沢福祉の里まつり	6	フラワーセンターあいご
奥州市ボランティアフェスティバル	5	フラワーセンターあいご
金ヶ崎町自立支援協議会視察交流	20	愛護苑
合計	627	

6. 社会貢献活動等の取組状況(平成 25 年度)

取組内容	実施施設
幼年消防防火パレード	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町壇原地区早朝道路清掃	金ヶ崎保育園
金ヶ崎町街地区センターグラウンド草取り	金ヶ崎保育園
赤い羽根共同募金街頭募金	東水沢保育園
幼年消防防火パレード	東水沢保育園
風の子農園収益寄付(5歳児)	東水沢保育園
泉公園草取り作業	東水沢保育園
幼年消防防火パレード	たんぼぼ保育園
泉公園草取り作業	第二東水沢保育園
赤い羽根共同募金街頭募金	第二東水沢保育園
幼年消防防火パレード	第二東水沢保育園
風の子農園収益寄付(5歳児)	第二東水沢保育園
中高生と施設との交流会	静山園
赤い羽根共同募金街頭募金	静山園
一般市民及び市老連等々の団体対象の陶芸教室開催	静山園
ふれあいの丘公園清掃活動	希望の園
赤い羽根共同募金街頭募金	希望の園
赤い羽根共同募金街頭募金	興郷塾
ふれあいの丘公園清掃作業	興郷塾
赤い羽根共同募金街頭募金	地域生活援助センター
奥州市水沢区消防団出初式	障がい者施設合同